

第2学年2組 社会科授業案

授業日 平成27年11月18日(水) 第5時限

授業者

1 単元 考えよう、中部地方の未来 ～TPP でどう変わる～

2 単元の目標

- (1) 中部地方の自然、環境、人口、産業などの特色について学習する中で、特に産業について関心をもち、地域的特色を意欲的に追求しようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 中部地方の地域的特色を、産業を中心に多面的・多角的に考察し、自分の考えを適切に表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- (3) 中部地方の地域的特色やTPPに関する各種の資料を読み取ることができる。 【資料活用の技能】
- (4) 中部地方について、産業を中心に地域的特色を理解し、知識を身につけることができる。 【社会的事象についての知識・理解】

3 単元設定の理由

本学級は男子19名、女子19名の38名が在籍している。授業では、男子生徒を中心に活発に発言したり、黒板に出てきて書いたりできる。女子生徒は控えめではあるが、国名や都道府県名、人物名や出来事といった一問一答の問題では発言することもできる。そのため、資料を読んで自分の考えを述べ、その考えを互いにかかわらせながら、話し合いをする場面は少ない。さらに、複数の資料をかかわらせ合いながら、多面的・多角的に物事を考える活動にはいたっていない。そこで、さまざまな資料をもとに、生徒同士が意見をかわらせ合いながら、互いに学び合う授業を考えた。

学習指導要領では「日本の諸地域」をあらゆる視点から考察して、学習を組み立てていくことが求められている。「中部地方」では、工業と農業を主とした産業を中心に地域の特徴を学習していく単元となっている。中部地方は自動車産業が集まる日本の機械工業の中心である中京工業地帯があり、工業のさかんな地域といえる。また、中部地方は自然を利用した農業や付加価値のある農作物を栽培する輸送園芸農業や施設園芸農業などが行われている。そして、生徒たちの住む豊川市でも、これらの産業がさかんに行われている。

本単元では、導入として、豊川市の工業と農業に焦点をあてた授業を行う。中部地方の産業の特色を豊川市の産業とかかわらせ合いながら考えることで、生徒たちはより切実感をもって、中部地方の産業について考えることができるだろう。そして、生徒たちが中部地方の産業の抱える問題についてより深く考え、話し合うことができるように、TPPが中部地方に与える影響について考えさせたい。TPPがもたらす影響は、私たちが生活する中部地方にとっても、様々な影響をもたらすだろう。そして、私たちの住む豊川市の産業にも影響をもたらす可能性がある。生徒たちは、TPPについての資料を読み、比較・関連づけながら考える中で、私たちの生活に多くの問題を生み出すことに気づくはずである。そして、それらの問題をどのように解決していけばよいかについて、多面的・多角的に考えながら、話し合うだろう。その過程の中で、資料を読解し、その内容をまとめ、発表することで思考力・判断力・表現力を養い、地理的分野の学習をさらに深まりのあるものにしていきたい。

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- TPP への参加は中部地方の産業にどのような影響を与えるのか、資料を根拠として、自分の考えを伝え合うことができる。
- 【社会的な思考・判断・表現】

(2) 過程

学 習 活 動	指導上の留意点・教師の支援								
<p>1 TPP への参加により中部地方の産業が、どのように変わるか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">TPP で、中部地方の産業はどう変わるだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 本時までには自分の考えをワークシートに記入させておく。 								
<p>2 グループで自分の意見を発表する。</p> <p>3 全体で話し合う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">農業</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">工業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> • アメリカへの牛肉への輸出が増やせるので、飛騨牛のようなブランド牛がアメリカで売れると思う。 • アメリカ産、オーストラリア産の牛肉の関税が9%に下がるので、<u>国産の牛肉が売れなくなる。</u> • 外国産の米や麦が安く買えるようになるので、<u>北陸の米農家が困る。</u> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> • 自動車部品の関税が0円になるから、OSG のドリルが売れて儲かるようになる。 • トヨタの自動車が、アメリカやカナダ、ベトナムなどで、さらに安く売れるようになり、トヨタが成長する。 • オリンパスのような中央高地で作られている精密機械の輸出が増える。 </td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">サービス業</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> • 外国からの輸入が増えるので、<u>運送業が儲かる。</u> • ハンバーガー店や牛丼店が売れる。 • <u>日本産の食品ほど安全ではないかもしれない。</u> </td> </tr> </tbody> </table>	農業	工業	<ul style="list-style-type: none"> • アメリカへの牛肉への輸出が増やせるので、飛騨牛のようなブランド牛がアメリカで売れると思う。 • アメリカ産、オーストラリア産の牛肉の関税が9%に下がるので、<u>国産の牛肉が売れなくなる。</u> • 外国産の米や麦が安く買えるようになるので、<u>北陸の米農家が困る。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車部品の関税が0円になるから、OSG のドリルが売れて儲かるようになる。 • トヨタの自動車が、アメリカやカナダ、ベトナムなどで、さらに安く売れるようになり、トヨタが成長する。 • オリンパスのような中央高地で作られている精密機械の輸出が増える。 	サービス業		<ul style="list-style-type: none"> • 外国からの輸入が増えるので、<u>運送業が儲かる。</u> • ハンバーガー店や牛丼店が売れる。 • <u>日本産の食品ほど安全ではないかもしれない。</u> 		<ul style="list-style-type: none"> • 4人グループで活動することによって、自分の意見に自信をもって発表できるようにする。 • どの資料で意見を言ったのか聞くことによって、根拠を明らかにして発表させる。 • TPP の問題点を色チョークで強調することによって問題を焦点化し、問題に気付かせる。
農業	工業								
<ul style="list-style-type: none"> • アメリカへの牛肉への輸出が増やせるので、飛騨牛のようなブランド牛がアメリカで売れると思う。 • アメリカ産、オーストラリア産の牛肉の関税が9%に下がるので、<u>国産の牛肉が売れなくなる。</u> • 外国産の米や麦が安く買えるようになるので、<u>北陸の米農家が困る。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車部品の関税が0円になるから、OSG のドリルが売れて儲かるようになる。 • トヨタの自動車が、アメリカやカナダ、ベトナムなどで、さらに安く売れるようになり、トヨタが成長する。 • オリンパスのような中央高地で作られている精密機械の輸出が増える。 								
サービス業									
<ul style="list-style-type: none"> • 外国からの輸入が増えるので、<u>運送業が儲かる。</u> • ハンバーガー店や牛丼店が売れる。 • <u>日本産の食品ほど安全ではないかもしれない。</u> 									
<p>4 TPP の問題点の解決策を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">中部地方の産業はどのような努力をしていけばよいだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 共栄社や OSG などのように技術を高めて、海外にもっと輸出していくようにしていけばよい。 • 音羽米のようにブランド化して、味で勝負する。 • ブランド牛を大量生産していく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 第一時で出てきた農作物や企業を提示することで、切実感をもって中部地方の産業を考えるようにする。 • トマトの技術革新を紹介することによって、生徒に新たな視点をもたせる。 								

(3) 本時の評価

- 話し合いの様子やワークシートの記述から、TPP への参加は中部地方の産業にどのような影響を与えるのか、資料を根拠として、自分の考えを話し合うことができる。

4 単元構想図

豊川市自慢の産業はなんだろう。(第1時)

[農業]
大葉 スプレー菊 トマト メロン シクラメン
いちご ネギ キャベツ 小松菜 音羽米など

[工業]
OSG 共栄社 日本車輛 新東工業
コニカミノルタ アイホー など



豊川の農産物は、『安全・安心で、おいしい野菜や米は、地元から』の理念に基づき、環境にやさしく、一層の安全・安心にこだわってつくられ、認証された農産物です。全国各地で、豊川の農産物が食べられています。



OSGは、世界トップシェアを誇るタップを中心に製造販売する総合工具メーカーです。世界29カ国に製造・販売・技術サポート体制を築いています。今後もさらに地球規模で事業を展開し、世界のものづくり産業に貢献していきます。

中部地方の産業の自慢はなんだろう。

豊川市以外の産業は、どうなっているんだろう。

[農業] 中部地方の農業を考察する。(第2時)

[工業] 中部地方の工業を考察する。(第3時)

なぜ、東海地方は施設園芸農業がさかんなのか。

なぜ、東海地方は、輸送機械工業がさかんなのだろう。

キーワード：施設園芸農業、交通網、輸送面

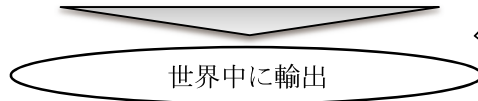
キーワード：工業生産額、中京工業地帯、東海工業地域

中央高地、北陸の農業の特色と自然との関わりを考えよう。

中央高地や北陸の工業の特色は何だろう。(第4時)

キーワード：観光農園、高原野菜、早場米、米産出額、水田率

キーワード：地場産業、電子部品、IC、メガネのフレーム



日本でも世界でも売れているんだね。

中部地方の商品がさらに売れるにはどうしたらよいだろう。(第5時)

- ・日本以外の国に輸出を増やす。
- ・国内でもいろんな場所で買ってもらえるように工夫する。
- ・ゆるキャラを作って、宣伝する。
- ・外国の商品に負けない品質にする。
- ・豊川の野菜を加工して、商品にして売る。

TPPによって、関税がなくなるかもよ。私たちの生活にも影響があるのかな。

TPPって何だろう。(第6時)

TPPについて調べてみよう。(第7時)

- ・12カ国が交渉に参加。(アメリカ・ペルー・オーストラリア・マレーシアなど太平洋を取り巻く国々)
- ・域内の貿易や投資拡大に向け、関税を含む様々な障壁を撤廃。
- ・「全品目関税完全撤廃」が原則。

関税ってなんだろう。
関税率：小麦252% 牛肉38.5%
関税が撤廃されたらどうなるだろう。

TPPへの参加は中部地方の産業にどのような影響を及ぼすだろう。(第8時：本時)

- [農業]
- ・アメリカへの牛肉への輸出が増やせるので、飛騨牛のようなブランド牛がアメリカで売れると思う。
 - ・アメリカ産、オーストラリア産の牛肉の関税が9%に下がるので、国産の牛肉が売れなくなる。
 - ・外国産の米や麦が安く買えるようになるので、北陸の米農家が困る。

- [工業]
- ・自動車部品の関税が0円になるから、OSGのドリルが売れて儲かるようになる。
 - ・トヨタの自動車が、アメリカやカナダ、ベトナムなどで、さらに安く売れるようになり、トヨタが成長する。
 - ・オリンパスのような中央高地で作られている精密機械の輸出が増える。

- [サービス業]
- ・外国からの輸入が増えるので、運送業が儲かる。
 - ・ハンバーガー店や牛丼店が売れる。
 - ・日本産の食品ほど安全ではないかもしれない。

中部地方の産業は、どのような努力をしていけばよいだろう。

中部地方の産業の未来を考えよう。(第9時)